

会員 各位

一般社団法人 日本環境アセスメント協会  
教育研修委員会委員長 山崎 崇  
セミナー委員会委員長 今関 哲夫

## 2021年度 JEAS 第17回技術交流会(Web開催)における 技術紹介申し込み受付のご案内

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

会員相互の技術交流および業務の活性化ならびに会員の有する環境アセスメント関連技術の内外への発信等を目的として、第17回技術交流会を下記の要領で開催致します。コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、昨年度と同様に今年度もWebにより開催いたします。

技術交流会の開催案内については当協会HP、環境新聞に掲載するほか、関係官庁、自治体、学会等にも行い、発表内容については当協会HP、JEAS ニュースに掲載します。特に、JEAS ニュースは、会員のほか、約1,300箇所の関係官庁、自治体、大学、学会等へ配布していますので、発表者や所属企業のPRにも大いに役立ちます。

技術交流会での発表演題は、添付の資料1の通り多岐にわたります。この技術交流会は、技術だけでなく、会員内外の交流の場、会員会社のPRの場、ビジネスチャンス、若手育成の場としても活用することを期待しております。

つきましては、ご多用中のことと拝察いたしますが、なにとぞ奮って、技術紹介の申し込みをくださいますようご案内申し上げます。

— 記 —

1. 名 称 2021年度 JEAS 第17回技術交流会(Web開催)

### 2. 開催趣旨

環境アセスメント業務は事業別・環境要素別に、調査計画から現地調査・解析、予測・評価、環境保全対策、報告書作成、住民説明等、幅広い技術とノウハウが必要です。

当協会の会員は、環境アセスメントに関するそれぞれの得意な分野と技術を有しており、これら蓄積された技術やノウハウについて、会員相互に紹介・PRすることにより、会員各社の業績向上・発展に資するものと考えられます。また、会員の有する技術を内外に発信することにより、環境アセスメントの技術普及や人的ネットワーク形成などを図ることができるものと考えられます。

3. 開催日時 令和3年12月10日(金) 13:30~17:00(予定)

4. 開催方法 口頭発表 : Zoomによるライブ配信

ポスター発表 : テーマごとに設置したオンラインルームにてポスター発表をライブ配信。発表者と参加者が自由に意見交換・質疑応答。

※ 技術交流会の参加申し込みをいただいた方に専用URLをお送りし、視聴いただく方式です。

## 5. 技術紹介の内容

### (1) 環境アセスメント関連技術

### (2) その他自社の環境配慮型技術一般

(1) (2)ともに制限はありませんが、参考までに、昨年度の技術交流会アンケートにおいて「今後、発表してほしい技術テーマ、内容」としてあげられたものを以下に記載します。

- ・環境DNA・NGS
- ・IoTと環境調査、分析、環境技術との関連
- ・AIと環境調査、環境技術との関連
- ・海外ミティゲーション事例
- ・生物多様性、SDGs、地域創生
- ・調査の新技术、最新のセンサー、機器等
- ・再エネ（太陽光、水力、地熱、風力等）の開発初期における環境に係る取り組み
- ・都市環境の評価手法（風環境、ヒートアイランド、都市景観、交通等）
- ・ドローン、GIS
- ・鳥類3Dカメラ
- ・自然環境の保全技術
- ・グリーンインフラ
- ・バイオリギング

## 6. 技術紹介の形式

### (1) 口頭発表（プレゼンテーション）：発表時間20分（発表15分、質疑5分）

- ・JEAS技術交流会専用アドレス（Zoomを使用予定）でのライブ配信を予定しています。
- ・口頭発表は、下記JEAS会議室または発表者の事務所等からオンラインで行っていただきます。JEAS会議室にて発表の場合は、発表30分前に会議室にご集合ください。
- ・ライブ配信はスタッフが行います。
- ・発表後には質疑応答の時間を設けます。

【配信会場】〒102-0092 東京都千代田区隼町2番13号 US半蔵門ビル7階  
一般社団法人 日本環境アセスメント協会 会議室  
<https://jeas.org/access/>

### (2) ポスター発表\*

- ・事前にポスター、リーフレット、パンフレット等をお送りいただき、HP上での公開を予定しています。
  - ・(1)口頭発表の後、5分程度のPRを行っていただいたうえで、各々のルームにて技術や製品の紹介をライブ配信していただきます。
  - ・ポスター発表は、基本的に発表者の事務所等からオンラインで行っていただきます。
- ※Web開催で実施する2021年度は、従来の「展示発表」を「ポスター発表」としました。

## 7. スケジュール

- |                              |           |
|------------------------------|-----------|
| (1) 技術紹介申し込みの期限              | 10月15日(金) |
| (2) プログラムの決定・技術交流会聴講参加申し込み開始 | 11月中旬     |
| (3) 技術交流会                    | 12月10日(金) |

## 8. 申込方法

別紙申込書に必要事項を記入して、令和3年10月12日(火)までに協会宛にe-mail ([asekyo@jeas.org](mailto:asekyo@jeas.org)) によりお申し込みください。

## 9. その他

- (1)発表時間は申し込み件数により調整させていただくことがあります。
- (2)会員からの発表希望の状況により、非会員からの応募を受け付けることがあります。
- (3)技術交流会への参加募集は非会員も対象とします。
- (4)発表内容については、後日、当協会HP (<https://jeas.org/activity11/>)、JEASニュースに、発表演題、発表者名、所属、発表概要を掲載します。

JEAS技術交流会はJEAS-CPD制度の認定プログラムです。

## 技術交流会における口頭発表演題（直近6年間）

回	演 題	発表者
第16回 (2020年) Web開催	1. 小田和湾の環境改善ーアサリ生息調査を例ー	アジア航測(株) 梶岐 信二
	2. 道路環境アセスメントの交通調査手法としての TRAVIC 活用	八千代エンジニアリング(株) 小篠 耕平
	3. 着床式洋上風力発電における発電コストの検討 ー計算結果を GIS で見える化ー	アジア航測(株) 浅井 樹
	4. 機械学習を活用した騒音データ自動処理システムの開発	ムラタ計測器サービス(株) 石塚 敏久
	5. 緑地における生物多様性保全への配慮から、 まちづくり全体への SDGs の貢献へ(ABINCADVANCE の紹介)	大日本コンサルタント(株) 浦瀬 勇真
第15回 (2019年)	1. 携行型 PCR を用いた環境 DNA 分析手法の開発	パシフィックコンサルタンツ(株) 渡部 健
	2. 紫外線 LED を用いた小型軽量ライトトラップの開発	(特非) 野生生物調査協会 新里 達也 <sup>*1</sup> *1(株) 環境指標生物 後藤 健一 <sup>*2</sup> *2(株) 地域環境計画、 酒井 孝明 <sup>*3</sup> *3(株) 環境アセスメントセンター 高木 圭子 <sup>*4</sup> *4(株) 応用生物 谷川 俊二 <sup>*5</sup> *5(株) 緑生研究所 坪山 聡 <sup>*6</sup> *6(株) エコリス 吉田 馨 <sup>*6</sup>
	3. 音声解析技術の活用による生物の生息調査手法	富士通九州ネットワークテクノロジーズ(株) 斎藤 睦巳
	4. LiDAR と GIS を用いた森林インベントリ把握と展望	FRS コーポレーション(株) Park Yong Seuk
	5. ダム事業における保全対策事例ービオトープ整備の効果検証	八千代エンジニアリング(株) 坂口 幸太
	6. 東北の汽水湖でのアサリ資源回復に向けた調査検討事例	(株) 大林組技術研究所 大島 義徳
	7. 土壌汚染対策法の改正点と措置の技術的手法に関する考察	アジア航測(株) 三ツ倉 理恵
第14回 (2018年)	1. エコロジカル・ランドスケープデザイン手法を活用した 地熱発電所計画地シミュレーション支援ツールの開発	清水建設(株) 橋本 純
	2. グリーンインフラの社会実装に向けた課題と民間事業者の役割	いであ(株) 幸福 智
	3. 瀬切れ河川における魚類の生息状況変化に関する調査・検討	八千代エンジニアリング(株) 林 宏樹
	4. 環境DNA技術の紹介ー外来淡水エビを例としてー	(株) 日本海洋生物研究所 平岡 礼鳥
	5. 貝殻ポーラスコンクリートカルバースの増殖効果について	海洋土木(株) 内山 幸之助
	6. 3次元カメラ手法による鳥類飛翔調査	(一社) 電力中央研究所 竹内 亨
第13回 (2017年)	1. 携帯端末を活用した住民との合意形成ツール	清水建設(株) 宮瀬 文裕
	2. デジタル画像を用いたアオコ判定システムの自動化に向けた基礎的検討	八千代エンジニアリング(株) 岡本 佳子
	3. 風力発電所に係る調査・予測の取組み	ムラタ計測器サービス(株) 大西 裕介
	4. ドローンを利用した森林観測技術-ミャンマーでの研究事例-	アジア航測(株) 和田 幸生
	5. 外来種に頼らないで、のり面緑化をどう行うか	(株) 大林組 寺井 学
第12回 (2016年)	1. 船舶レーダーを用いた鳥類調査へのとりくみ	FRS コーポレーション(株) 徳島 秀彦
	2. 環境アセスメントにおけるキノコ・蘚苔類・地衣類調査	(株) 環境指標生物 池田 英彦
	3. 身近な危険生物スズメバチについて	(株) 建設技術研究所 野中 俊文
	4. テレビ電波受信障害の変化について	(株) ヤマトテレビシステム 横溝 孝幸
	5. 水底放射能測定装置みなそこによる 底質土壌の放射性セシウム濃度オンサイト測定	(株) 環境総合テクノス 生野 元昭
第11回 (2015年)	1. 生物多様性配慮型、企業緑地の動向と ABINC (エイビック) 認証制度について	(一社) いきもの共生事業推進協議会 安斉 健雄
	2. バルーンを用いたコウモリ類の飛翔高度の計測	アジア航測(株) 鈴木 健一
	3. 生物多様性簡易評価ツールいきものコンシェルジュの開発	大成建設(株) 渡邊 千佳子
	4. 常磐線特定環境影響評価	(株) 復建技術コンサルタント 池澤 紀幸
	5. 火力発電所用大気アセスメント支援ツールの開発	(一財) 電力中央研究所 佐藤 歩
	6. インターネットを利用した気象観測システム	(株) 風工学研究所 猿川 明
	7. 虫を食べるー昆虫食の紹介ー	(株) 建設技術研究所 野中 俊文
	8. 放射性物質の環境影響評価のために ホットスポットと平均線量率で測定評価する方法	エヌエス環境(株) 内田 英夫

### 技術交流会における展示発表演題（直近6年間）

回	演 題	展示者
第16回 (2020年) Web開催	1. ハチクマの人工代替巣設置による繁殖成功事例の紹介	国際航業(株) 河野 郁央
	2. IoT 自動撮影カメラを活用した 猛禽類のモニタリング調査の効率化に関する 取り組み	(株)環境アセスメントセンター北信越支社 植松 永至
	3. 遠州灘沿岸域の堤防整備に伴う猛禽類への配慮について	(株)環境アセスメントセンター 近藤多美子
	4. RTK 法による UAV を用いた写真測量による 河川の河床形態把握の取り組み	(株)環境アセスメントセンター 鈴木 雅人
	5. 生物多様性の向上を目指したグリーンインフラの整備 (事業所緑地の活用)	(株)環境アセスメントセンター 栗原 淳
	6. 道路整備における保全対策事例～海浜植生の復元技術	(株)環境アセスメントセンター 栗原 淳
第15回 (2019年)	1. 携行型PCRを用いた環境DNA分析手法の開発	パシフィックコンサルタンツ(株)
	2. 紫外線LEDを用いた小型軽量ライトトラップの開発	(特非) 野生生物調査協会 (株)環境指標生物 (株)地域環境計画、 (株)環境アセスメントセンター (株)応用生物 (株)緑生研究所 (株)エコリス
	3. 紙素材の仮設資材の適用事例の紹介	清水建設(株)
	4. バーズアイ・リサーチ研究会の活動の紹介	バーズアイ・リサーチ研究会 (株)環境アセスメントセンター (株)地域環境計画 (株)エコリス (株)エスアイエイ
第14回 (2018年)	1. バイオロギングを用いたトラフグの産卵生態調査事例	三洋テクノマリン(株)
	2. 環境分野におけるUAV活用の検討	ムラタ計測器サービス(株)
	3. エコロジカル・ランドスケープデザイン手法を活用した 地熱発電所計画地のシミュレーション支援ツールの開発	清水建設(株)、(株)風景デザイン研究所
	4. 市民参加の「人と自然とのふれあい調査」 ～(公財)日本自然保護協会の取り組みより	(公財)日本自然保護協会
第13回 (2017年)	1. EADASについて	環境省
	2. ミャンマーにおける森林減少・劣化防止のための支援活動 —ドローンと衛星リモートセンシングを利用した森林モニタリング事例—	アジア航測(株)
	4. アニマルパスウェイ製作・建設ガイド	(一社)アニマルパスウェイと野生生物の会
	5. 緑の認定 SEGES (シージェス) 都市のオアシス	(公財)都市緑化機構
	1. ABINCの活動理念、認証サイト一覧・分布	(一社)いきもの共生事業所推進協議会
第12回 (2016年)	2. 水質放射能自動測定システムの開発	(株)環境総合テクノス
	3. 水底放射能測定装置「みなそこ」による 底質土壌の放射性セシウム濃度オンサイト測定	(株)環境総合テクノス
	4. ワイヤレス自動撮影カメラの紹介とクラウド活用の提案	(株)地域環境計画
	5. VRを用いた景観検討	日本工営(株)
	第11回 (2015年)	1. 環境調査への適用を目的とするGNSS利用地点設定システムの開発

注) 2021年度より、Web開催で実施する場合は従来の「展示発表」を「ポスター発表」といたします。

技術紹介申込書

下記のとおり、技術紹介の参加を希望します。

宛 先：一般社団法人日本環境アセスメント協会

E-mail：asekyo@jeas.org FAX：03-3230-3876

タイトル		
発表者 (代表者)	氏名	
	所属	
	TEL	
	メール	
発表者 (共同研究・ 共同発表の場合)		
技術紹介の種類 (複数可)	<input type="checkbox"/> 口頭発表	<input type="checkbox"/> ポスター発表
技術紹介の要旨 [400字程度]  (開催案内時に 「口頭発表要旨」 又は 「ポスター発表内容」 として使用いたします)		

注) 1 件の発表に対し申込書 1 枚としてください。